

今年も秋の味覚
“栗”の季節がやってきます！

第7回

かさま新栗まつり

茹で栗・栗ご飯のほかに、和菓子・洋菓子などさまざまな用途で使用されている“栗”。とっても美味しい秋の味覚の季節が今年もやってきます！

茨城県は、栗の栽培面積・収穫量ともに全国1位を誇り、(栽培面積：全国の約18%・約3,830ha。収穫量：全国の約24%・約5,090t ※平成24年農林水産統計)中でも笠間市は、代表的な栗の産地です。

“栗の産地・笠間”を広くPRすることを目的に開催している「かさま新栗まつり」は、今年で7回目を迎えます。

当日は、栗の試食・販売、お菓子の販売、ゲームなどが催され、家族連れでも楽しめる内容です。

ぜひ、ご来場いただき、旬の栗をご賞味ください！

日 時／10月5日(土)・6日(日) 午前9時～午後4時
(最終日は午後3時30分まで)

会 場／市民センターいわま(笠間市役所岩間支所)

問合せ／かさま新栗まつり実行委員会(事務局：農政課 内線527)

栗ダーツ



栗の形の笠間焼



地産地消=食べて、かさま応援！

グルメイトが行く2

(全5回)

地産地消メニューで食卓を彩ることで、地域農業を応援する「笠間グルメイト」が、農家を訪問して、生産現場をレポートします。この記事に関するお問合せは、農政課(内線527)へ。

【今月の訪問先】
岩間農援隊



(左から)
こみやま 祐一さん
しはた はやこ
柴田 早子さん
しのぎしんいちろう
篠崎真一郎さん
やまぐち ただえい
山口 忠栄さん

7月28日(日)に笠間クラインガルテンにて「地元産夏野菜で親子クッキング」を開催しました

小学生、農援隊、グルメイトの交流会の様子▶



◀ピーマン、なす、みょうが、トマトなど岩間農援隊に野菜を提供していただきました！

【今月のグルメイト】
布施谷ちえみさん(左)
興津亜紀子さん(右)



Q&A(グルメイトから岩間農援隊に聞きました)

Q1 岩間農援隊とは？

A1 岩間農援隊は、岩間地区の学校給食に野菜を提供している組織です。平成25年4月から活動を始め、現在4名のメンバーがいます。もともとメンバーの2人(篠崎さん、柴田さん)は給食用に野菜を提供していましたが、さらなる地産地消を推進するため、岩間農援隊として組織を作り、生産者同士が連携し、足りない野菜を補い合うことなどができるようになりました。

Q2 どのような野菜を作っているのですか？

A2 これから出荷する野菜は、ねぎ、にんじん、白菜、キャベツ、じゃがいも、なす、冬瓜、大根、ほうれん草などです。野菜の種類によっては、2・3人で協力して納品することもあります。平成25年度は岩間給食センターに12種類ほどの野菜を納品する予定です。

Q3 どのような苦労がありますか？

A3 限られた時間内に給食をつくるので、作業の効率が良いように、野菜の規格が指定されています。しかし、1回に納品する量も多く、規格をそろえるのは大変です。また、野菜の生育状況は天候に左右されるため、注文から1か月先の給食のメニューに合わせて栽培するのは難しいですね。

Q4 こだわりや工夫を教えてください。

A4 農薬や化学肥料の使用をなるべく減らし、有機肥料を使用した土作りなど、安全な野菜を生産することを心がけています。私たちが提供している野菜は給食全体から見ればごく一部ですが、子供たちに地元でとれたおいしい野菜を味わってもらいたいという思いで作っています。

インタビューにご協力いただきありがとうございました。